

大阪府歯科保険医協会  
大阪府浪速区幸町1-2-33  
大阪府浪速区幸町1-2-33  
電話(06)6568-7731(代)

# 患者負担増許さない

協会は、安倍政権の患者負担増計画にストップをかけるため、請願署名に取り組んでいる。小澤力理事長が協力を呼びかけている。

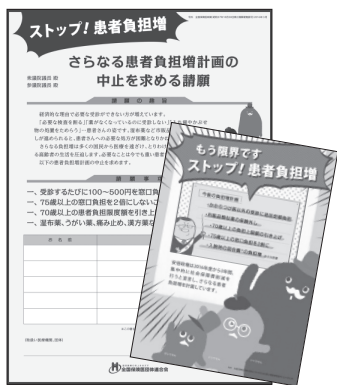
## 署名協力呼びかけ



「市の無料健診でむし歯があったにも関わらず、『治療はしない』と言われた」「入れ歯の費用を分割払いにしてほしいと相談された」。協会・保団連の「受診実態調査」で明らかになった患者の姿です。半年の間で6割もの歯科医院が経済的理由による治療中断を経験していました。お金

がなくて治療を断念する。あつてはならない事態が広がっています。安倍政権による社会保障改悪や消費税増税、景気低迷を背景にした貧困と格差の拡大は、子どもにも深刻な影響を及ぼしています。協会の「学校歯科治療調査」には、「口腔崩壊」の事例が多数寄せ

せられました。治療が受けられず、歯の痛みに耐えている子どもたちを想像する心が痛みます。推計では、府下で少なくとも2千人以上の子どもが「口腔崩壊」に苦しんでいることとなります。改悪を許せば、さらなる受診中断を引き起こすこと



署名用紙の追加は事務局 (TEL 06-6568-7731) までお問い合わせください。

受診を妨げる最大の要因は窓口負担です。国民の命と健康を守るためには、医療費の負担を軽減することが不可欠です。しかし、安倍政権は参院

とほ目に見えています。協会には、誰もが経済的に不安なく受診できるようにするために、「ストップ! 患者負担増」署名に

## 泉州地区を結成

### 責任者に勝藤大輔氏



勝藤大輔・泉州地区責任者(右)に花束を贈呈する小澤力理事長=4月16日、泉野市内

協会に11番目となる新しい地区組織「泉州地区」が4月16日に結成され、大阪府下の全てのエリアに地区組織が誕生した。結成総会は、りんくう総合医療センター教育棟で開催され、勝藤大輔評議員(泉野市)、栗本拓哉評議員(泉野市)、宅間雅彦評議員(泉南市)を地区役員として選

出。今後も地区役員を広く募っていく。地区責任者には勝藤氏を、第1回地区役員会でも互選した。同地区は堺・高石・和泉地区の援助を受けながら、準備会として活動してきた。長年の労をねぎらい、小澤力理事長から花束が贈呈された。結成に至る経過を報告

## 熊本震災募金に協力を

協会は、熊本地震で被害を受けた会員の支援募金に取り組んでいます。ご協力くださる方は下記の方法でお願いします。募金は熊本協会を通じて被災会員へ届けます。

- 【募金方法】
- ▷銀行振込  
近畿大阪銀行堀江支店/(普) 0021998/大阪府歯科保険医協会
  - ▷郵便振替  
専用の振替用紙(要問い合わせ) ※1口5千円、2口以上でお願いします

## 壊れたホットプレート



日本経済の停滞状況をどう見られていますか。

21世紀に入ってから、日本経済は国民に均等に熱が伝わらない「壊れたホットプレート」化し始

めました。今の日本経済で、鉄板の炎熱エリアに陣取っているのが富裕層や大儲けしている大企業で、かたや冷え切ったスポットに押し込まれているのがワーキングプアの労働者やアベノミクスの恩恵を受けない零細企業でしょう。加熱の不均衡は貧富の格差拡大となって表れています。アメリカのフォ

を役立つエリート人材と出来る限り安くこき使えよう。政府は規制緩和と後押ししてきました。こうした規制緩和と路線を進めたのは、安倍首相の先輩にあたる小泉首相でしょう。安倍政権が今のやり方を続けられれば、ホットプレートの壊れ具合は深刻化する一方です。

安倍政権下で急増した日本の富裕層上位10人の資産

	2012年	2015年
柳井 正	ファーストリテイリング社長 8692億円	2兆5109億円
孫 正義	ソフトバンク創業者 5658億円	1兆6541億円
佐治 信忠	サントリー社長 6478億円	1兆2971億円
三木谷浩史	楽天社長 5166億円	1兆2495億円
滝崎 武光	キーエンス創業者 3280億円	1兆472億円
高原慶一朗	ユニ・チャーム会長 2378億円	6426億円
韓 昌祐	マルハン会長 2296億円	5831億円
毒島 邦雄	SANKYO創業者 4674億円	5236億円
伊藤 雅俊	セブン&アイ・ホールディングス名誉会長 2132億円	4522億円
森 章	森トラスト社長 2624億円	4463億円

(出所: アメリカ・フォーブズ誌)

の6人に1人が、年間所得が120万円を下回る苦しい生活を強いられるのはなぜでしょうか。経済成長によって今よりも生活が良くなるのか。成長を忌み嫌う必要はありませんが、成長という言葉が社会的インフラや生産設備が発達した現在と戦後の貧しかった時代に、同様に当てるはめるのはナンセンスでしょう。

我々には十分な生産力と富があります。それを上手に分かち合い、壊れたホットプレートを均等に熱が行き渡るように修繕することが政治や経済に求められています。

**基軸** アベノミクス 恐るべき正体 ③  
同志社大学大学院教授・浜矩子氏に聞く

緩和后押し 成長よりも分かち合い

勝つために企業は労働者を

「壊れたホットプレート」は、「豊かさの中の貧困問題」と同義です。

「成熟経済」の時代に入ったと言えます。

にもかかわらず、国民

お知らせ  
保険算定のルールやレセプトの返戻などに関するお問い合わせは、社保研究部 直通電話06-6568-7467をご利用ください。

熊本地震は過去に経験のない大規模な余震が続いた。阪神淡路では火災、新潟では孤立、東北では大津波と原発など想定外の課題が次々と現れて、いつも対応が後手に回ってしまう。

だが被災者はパニックにならず、秩序正しく冷静な対応をしている。日本人は自然災害に慣れているのか、見栄っ張りな国民性なのか、こういった場面で糞落の着きに落ち着きを払う。

阪神・淡路大震災の時、退院したばかりの妻はベッドから指図して、私と娘は食事も摂らず兵卒のように駆けずり回った。熊本や菊池が戦場となった昔、刀や鉄砲の傷は手早く止血や消毒をすれば助かるのを「武士たる者がなんのこれしき」と格好つけて命を落とすことも少なくなかった。

災害は収束してからの復興が大変だ。20年を経て、腰抜けの関西人の我が家は今さら意気消沈で負債の重荷に喘いでいる。東北や新潟の人は粘り強い。熊本の強さを發揮するのはこれからだ。